

BWT 発振器故障対処表

レーザーの一般的な故障と解決策

1. Tripping (跳闸)

説明・対応措置：背面パネル「B」にあるヒューズを外し、ヒューズが溶断または破損していないか確認してください。

2. Interlock - Water Cooling Fault (互鎖-水冷故障)

説明・対応措置：チラーが起動していない、または故障で停止している可能性があります。チラーが正常に稼働しているか確認してください。

3. QBH (QBH 故障)

説明・対応措置：QBH が外部の切断ヘッドに接続されていません。QBH が確実に切断ヘッドに締結されていることを確認し、レーザーを再起動してから操作を行ってください。

4. Emergency Stop Alarm (急停报警)

説明・対応措置：インターロック信号が開路状態、または前面パネルの非常停止ボタンが押された場合に発生します。

水冷機が故障していないか確認し、非常停止ボタンが解除されているか確認してください。その後、レーザーを再起動して操作を行ってください。

5. Expiration Alarm (期限报警)

説明・対応措置：レーザーが試用期限に到達したことを示します。アフターサービスに連絡し、時間管理用のパスワードを取得してください。発振器前面のインジケータ (3 個) が同時に点滅します。

6. Optical Path 1, 2, 3, 4 (光路 1、2、3、4)

説明・対応措置：レーザーを再起動し、まず赤色パイロット光を点灯させ、赤色光が出力されることを確認してからレーザーを起動してください。

赤色光が出力されない場合は、当社のアフターサービスにご連絡ください。

7. Temperature Fault (温度故障)

説明・対応措置：この故障が発生した場合、水冷機の流量が仕様を満たしているか確認してください。水冷機の出力量を製品要求値まで増加させ、レーザーを再起動してください。

8. Temperature 1, 2, 3, 4 (温度 1、2、3、4)

説明・対応措置：温度アラームが発生した場合、水冷機の出力量および出力水温が仕様を満たしているか確認してください。

温度下限アラーム：入力水温が低すぎることを示します。

温度上限アラーム：入力水温が高すぎる、または流量が不足していることを示します。

9. Driver Overcurrent (駆動過流)

説明・対応措置：レーザーの駆動回路が過電流を出力した場合に電流アラームが発生します。アナログ信号の振幅が 10.5V を超えていないか確認してください。

10. Overvoltage Protection (過圧保護)

説明・対応措置：入力電圧が正常範囲を超えています。入力電源電圧を $\pm 10\%$ の範囲に調整してください。

11. Overheating (过热)

説明・対応措置：スイッチング電源の温度が高すぎます。チラーが起動しており、流量・水温が仕様を満たしているか、また使用環境温度が製品仕様を超えていないか確認してください。

12. AC Input Fault (交流輸入故障)

説明・対応措置：レーザーの入力電源が規定範囲を超えています。
故障が発生しレーザーを停止する必要がある場合、電源を切った後、約 20 秒待ってから再度電源を投入し、操作を行ってください。

⚠ 注意：上記の対策を実施しても故障が解消されない場合は、必ず サンマックスレーザー にご連絡ください。